

取扱説明書

リモート コントローラー
(マトリックス スイッチャ専用)

MSW-2808A MSW-2412A

MSW-3216A MSW-4816A

MSW-6416A

MSW-3232A MSW-6432A

RMC-11 NTSC

- リモート コントローラー RMC-11 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
○お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前にかならず「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくご使用ください。

■絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく確認してから本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

	△記号は注意(危険・警告含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

警告

- 本機のケース・裏パネル等をはずさない！
内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。
・改造などは絶対におこなわないでください。
・内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 本機を濡らさない！
火災・感電の原因となります。
・雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
・風呂・シャワー室などの水場では使用しないでください。
・本機の上に水などの入った容器を置かないでください。
・万が一水などが中に入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。
- 本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！
万一異物が入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない！
感電の原因となることがあります。
- 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない！
ほこりによりショートや発熱が起って火災の原因となります。湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！
コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。かならずプラグを持って抜いてください。
- 雷が鳴り出したら使わない！
電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- アース線を接地する
感電を避けるためにかならず接地をしてください。アース線は絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因となります。
- 電源電圧 100V±10%以外の電圧で使用しない！
火災・感電の原因となります。
- 煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本機が故障した場合、落としたりケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。
- 移動させる場合は、かならず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！
コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- 長期間使用しないときは、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜く！
火災の原因となることがあります。

 注意	
●本機の上に重いものを置かない！ バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。	
●コード類は正しく配線する！ ・電源コードを熱器具に近づけないでください。 ・電源コードを本機の下敷きにししないでください。 ・足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。	
●設置場所にご注意ください！ ・不安定な場所に置かないでください。 ・磁気が発生する機器の近くに置かないでください。 ・直射日光のあたるところや熱器具の近くに置かないでください。 ・冷凍倉庫や外気にさらされるなど、温度変化の激しいところには置かないでください。 ・振動や衝撃の加わる場所には置かないでください。 ・腐食性ガスのあたるところには置かないでください。 ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気があたる場所には置かないでください。	
●本機の通風孔をふさがない！ 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 壁から 10cm 以上離して設置してください。また、次のような使いかたはしないでください。 ・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。 ・風通しの悪い狭い所に押し込む。 ・じゅうたんや布団の上に置く。 ・テーブルクロスなどをかける。	

■定期点検とお手入れについて

※お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源コードのプラグを抜いてからおこなってください。

 注意	
●電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)場合は交換を依頼する！ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。	
●内部の掃除について 内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災・故障の原因となることがあります。	
●電源プラグの掃除をしてください 電源プラグを長時間差し込んだままにしておくと、差し込み部分にほこりがたまり、火災の原因となることがあります。年に一度くらいは、プラグを抜いてほこりを取ってください。	
●カバーは乾いた布で拭いてください 汚れがひどいときは、うすめの中性洗剤液を浸しよく絞った布で拭き取ってから、から拭きしてください。 このとき、液が内部に入らないように注意してください。 ベンジン、シンナー、アルコールなどの液体クリーナーやスプレー式クリーナーは使用しないでください。	

目 次

特長	2
各部の名称とはたらき	3
■背面図	3
■上面図	3
システムの種類	4
RS-232C のシステム例【1 台：1 台】	5
■接続例	5
■RS-232C ピン アサイン(参考)	5
マトリックス スイッチャ複数台のシステム例	
RS-485【1 台：N 台】	6
RMC-11 複数台のシステム例	
RS-485【N 台：1 台】	7

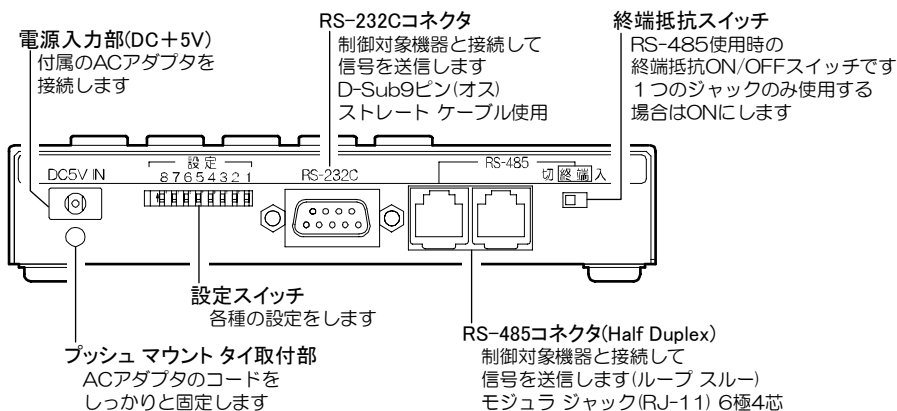
操作方法	8
■電源 ON/OFF	8
■操作方法	8
●6 キー操作(基本操作)	8
●4 キー操作(スレープ固定)	8
●2 キー操作(スレープ固定,出力固定)	9
設定スイッチの説明	7
■操作方法	9
■各スイッチの説明	9
L E D の表示内容	10
製品仕様	10
修理を依頼されるときは…	10
品質保証規定	10
おことわり	10

特 長

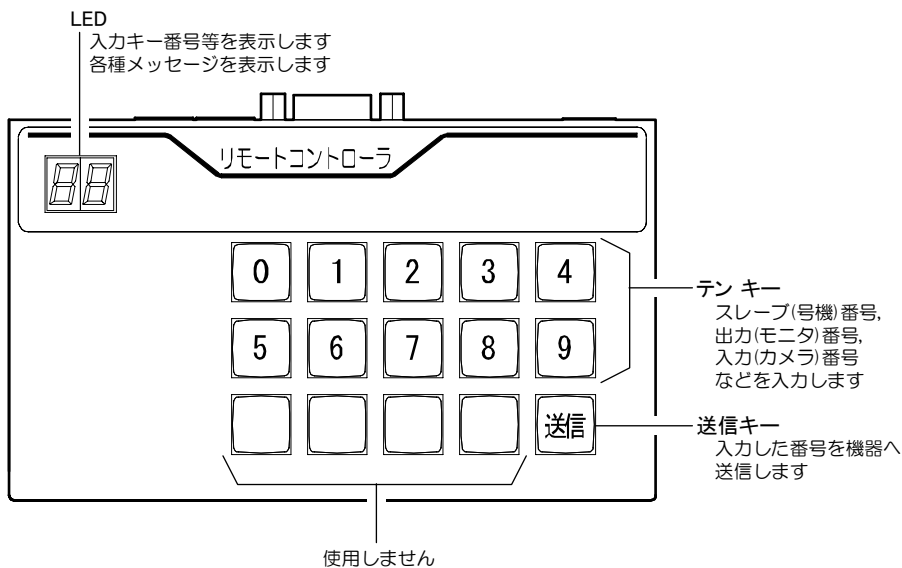
- 本機は、次の型番のマトリックス スイッチャ専用のリモート コントローラーです。
MSW-2808A/ 2412A/ 3216A/ 4816A/ 6416A/ 3232A/ 6432A
- マトリックス スイッチャとの通信は RS-232C または RS-485 をスイッチで選択できます。
- RS-485 を使用時は、32 台までのマトリックス スイッチャを本機 1 台で制御できます。
- RS-485 を使用時は、32 台までの本機で 1 台のマトリックス スイッチャを制御できます。

各部の名称とはたらき

■背面図



■上面図



システムの種類

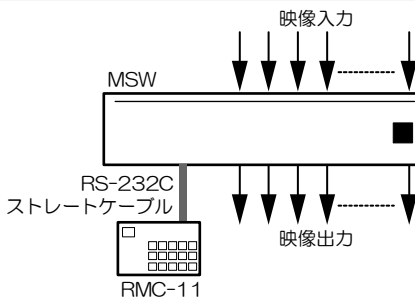
本機は RS-232C 通信または RS-485 通信により様々な使用方法があります。

使用目的に合わせてシステムを構築し、効果的にご利用いただけます。

※RS-232C と RS-485 の同時使用はできません。

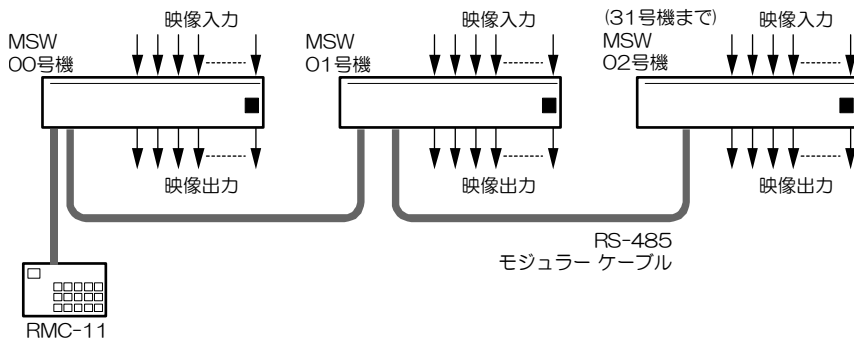
①RS-232C 【1 台:1 台】

RMC-11 とマトリックス スイッチが
1 台ずつの場合は、RS-232C 通信が適しています。
5 ページ～



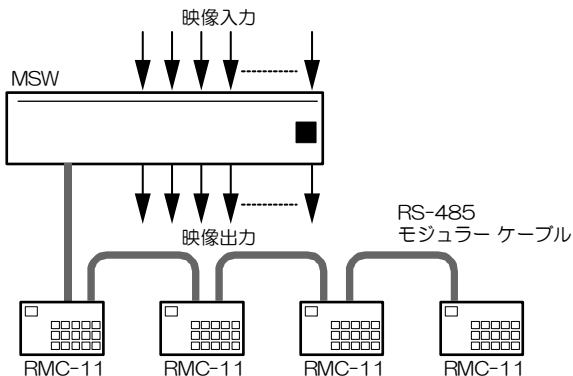
②RS-485 【1 台:N 台】

1 台の RMC-11 で複数台のマトリックス スイッチを
操作するときは RS-485 通信で使用してください。
マトリックス スイッチは号機を設定し、
デジチェーン接続します。6 ページ～



③RS-485 【N 台:1 台】

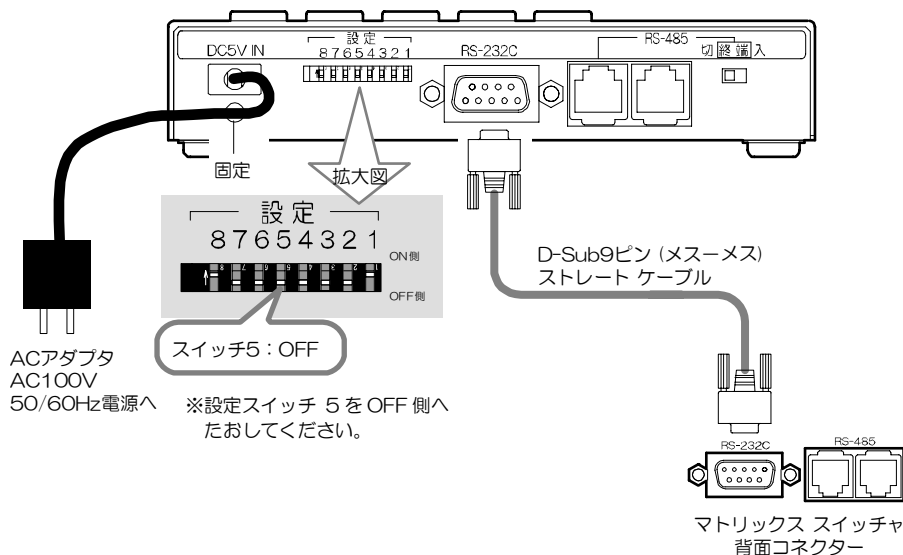
複数台の RMC-11 で 1 台
のマトリックス スイッチ
を操作するときは
RS-485 通信で使用する
ください。
RMC-11 はデジチェーン
接続します。
7 ページ～



RS-232Cのシステム例【1台:1台】

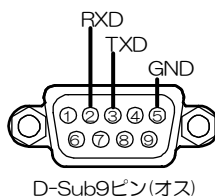
■接続例

- 注意**
- 電源はすべての接続が終わってからつないでください。
 - 電源をつなぐ前にならずコンセントの電圧を確認してください。
 - マトリックス スイッチャの各映像入出力端子には電圧を加えないでください。

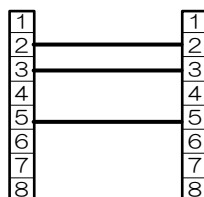


■RS-232Cピン アサイン(参考)

本機の RS-232C は三線式 (RXD, TXD, GND)
で、フロー制御をしていません。



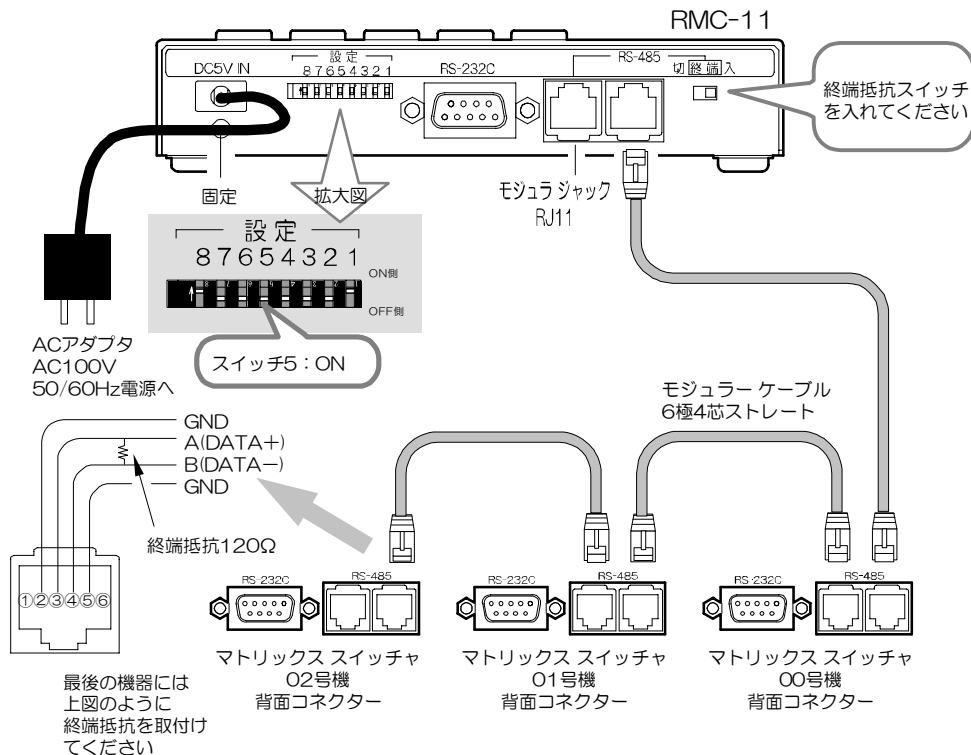
コントローラー側 機器側



マトリクス スイッチ複数台のシステム例 RS-485【1台:N台】

- 注意**
- 電源はすべての接続が終わってからつないでください。
 - 電源をつなぐ前に必ずコンセントの電圧を確認してください。
 - マトリクス スイッチの各映像入出力端子には電圧を加えないでください。

※マトリクス スイッチは 31 号機まで接続できます。
 ※各マトリクス スイッチのメニューでスレーブ番号(号機)00~31 を設定してください。
 ※設定スイッチ 5 を ON 側にたおしてください。
 ※終端抵抗スイッチを入れてください。
 ※モジュラー ケーブルは最長 1.2km まで制御できます。



RMC-11複数台のシステム例 RS-485【N台：1台】

- 注意**
- 電源はすべての接続が終わってからつないでください。
 - 電源をつなぐ前にかならずコンセントの電圧を確認してください。
 - 本体の各映像入出力端子には電圧を加えないでください。

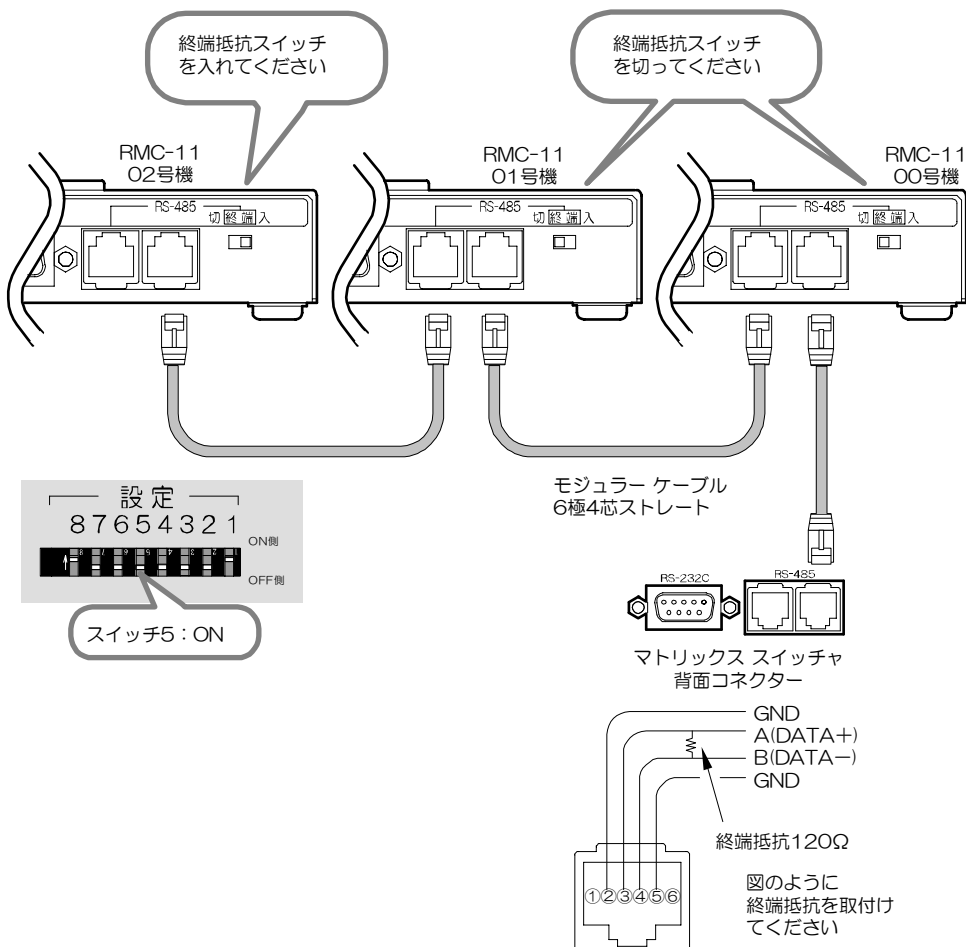
※RMC-11 は 32 台まで接続できます。

※RMC-11 の各電源は AC アダプタによって確保してください。

※各 RMC-11 の設定スイッチ 5 を ON 側にたおしてください。

※終端抵抗スイッチは終端の RMC-11 のみ入れ、他は切ってください。

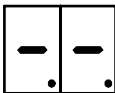
※モジュラー ケーブルは最長 1.2km まで制御できます。



操作方法

■電源 ON/OFF

- 付属の AC アダプタをコンセントへ差し込むとLED が右図のように点灯して電源が入ります。



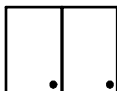
- 工場出荷時設定に戻すときは、送信キーを押しながら電源を入れてください。
LED が右図のように点灯して、次の項目が工場出荷時に戻ります。
・スレープ番号: 00
・出力番号: 00



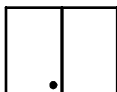
■操作方法

※RS-485 で使用するとき、各マトリックス スイッチのメニューでスレープ番号(号機)を設定しておいてください。

※点灯するLED のドットで入力内容が判ります。



ドット 2 個表示
スレープ(号機)番号の入力



ドット 1 個表示
出力(モニタ)番号の入力



ドット表示なし
入力(カメラ)番号の入力

●6キー操作(基本操作)

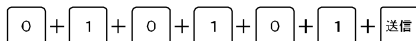
スレープ(号機)番号,出力(モニタ)番号,入力(カメラ)番号の順に押し、送信キーを押します。



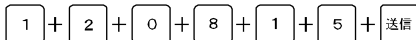
6キー + 送信

(例)

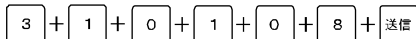
01 号機の出力 1 に入力 1 を割当てる



12 号機の出力 8 に入力 15 を割当てる



31 号機の出力 1 に入力 8 を割当てる



●4キー操作(スレープ固定)

スレープ(号機)番号は固定し、出力(モニタ)番号,入力(カメラ)番号の順に押し、送信キーを押します。



4キー + 送信

スレープ番号(号機)を固定する方法

- ①設定スイッチ 1 が OFF の状態で RMC-11 の電源を立上げます。
- ②設定スイッチ 1 を ON 側にたおします。



1 のスイッチを ON 側に
たおしてください

- ③LED は下図のように表示されます。



- ④スレープ番号と送信キーを押してください。
(例)31 号機を固定する場合

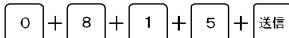


- ⑤RMC-11 の電源をいったん切って再度入れます。

以上の操作でスレープ番号が固定されます。
下図の(例)を参考に操作をおこなってください。

(例)

31 号機の出力 8 に入力 15 を割当てる



31 号機の出力 1 に入力 8 を割当てる



操作方法

●2キー操作(スレープ固定,出力固定)

スレープ(号機)番号と出力(モニタ)は固定し、入力(カメラ)番号と送信キーを押します。



2キー + 送信

スレープ番号(号機)と出力番号を固定する方法

- ①まず前ページの方法でスレープ番号の固定操作をおこなってください。
- ②設定スイッチ2がOFFの状態ではRMC-11の電源を上げます。
- ③設定スイッチ2をON側にたおします。



2のスイッチをON側に
たおしてください

- ④LEDは下図のように表示されます。



- ⑤出力番号と送信キーを押してください。

(例)出力4を固定する場合



- ⑥RMC-11の電源をいったん切って再度入れます。

以上の操作で出力番号が固定されます。
下図の(例)を参考に操作をおこなってください。

(例)

出力4に入力15を割当てる



出力4に入力8を割当てる



設定スイッチの説明

■操作方法

設定スイッチの設定を有効にするために次の手順が必要です。

- ①有効にしたい設定スイッチ番号がOFFの状態電源を入れる。
- ②設定スイッチをON側にたおす。(1つだけ)
- ③LEDに内容が表示される。
- ④設定する。(スレープ番号,出力番号の設定のみ)
- ⑤電源を切り、再度入れる。

■各スイッチの説明



1. スレープ番号の設定

スレープ番号を固定することによって、操作するときスレープ番号入力を省略できます。

設定スイッチ1	設定値
ON	スレープ番号固定 設定範囲: 00~31
OFF	スレープ番号フリー

工場出荷時設定:ON(スレープ番号は00で固定)

2. 出力番号の設定

出力番号を固定することによって、操作するとき出力番号入力を省略できます。

設定スイッチ2	設定値
ON	出力番号固定 設定範囲: 01~出力数
OFF	出力番号フリー

工場出荷時設定:OFF

3. 使用しません

4. データレートの設定

設定スイッチ4	設定値
ON	2400(bps)
OFF	9600(bps)

工場出荷時設定:OFF

5. 通信プロトコルの設定

設定スイッチ5	設定値
ON	RS-485
OFF	RS-232C

工場出荷時設定:ON

6. 使用しません

7. 使用しません

設定スイッチの説明

8. アンサー表示の設定

設定スイッチ8	設定
ON	アンサーあり
OFF	アンサーなし

工場出荷時設定:ON

LEDの表示内容

LED 表示	状態	備考
	電源立上げ時の表示です	
	制御コマンドは正常に処理されました	設定スイッチ8がONのときのみ表示
	送信エラー フレーミング エラー	設定スイッチ8がONのときのみ表示
	送信エラー パリティ エラー	設定スイッチ8がONのときのみ表示
	送信エラー オーバーラン エラー	設定スイッチ8がONのときのみ表示
	制御コマンド エラー コマンドを拒否しました	設定スイッチ8がONのときのみ表示
	スレープ番号を固定します	設定スイッチ1をONにしたとき表示
	出力番号を固定します	設定スイッチ2をONにしたとき表示
	スレープ番号と出力番号を工場出荷時設定に戻しました	スレープ番号: 00 出力番号: 00

製品仕様

- インターフェイス RS-485 RJ-11×2 RS-232C D-Sub9 ピン(オス)
 - 設定スイッチ RS-485/RS-232C データレート スレープ固定 出力固定 アンサー
 - 終端スイッチ 終端ON/OFF
 - 電源電圧 AC100V±10% 50/60Hz 約 1.2W (AC アダプタを使用)
 - 外形寸法 136(W)×80(D)×25(H) (突起部除く)
 - 質量 約 0.3kg
- ※仕様および外観は、改良その他の理由により、予告なく変更する場合がございます。
※本機は日本国内のみの使用に基づいて設計・製造されています。

修理を依頼されるときは…

- 本機が正常に動作しないときは「接続例」をもう一度ご覧いただき、環境および動作をご確認ください。それでもなお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
 - 修理をお申し付けいただくときは、品名と症状を詳細にお知らせください。
- 品名: リモート コントローラー **RMC-11**

品質保証規定

取扱説明書の注意事項に従った使用状態で、ご使用中に発生した故障については、お買い上げの日より 1 年間、無償にて修理させていただきます。
※保証期間内であっても、下記の場合有償となる場合がございます。

- ①お買い上げの年月日、および販売店について証明となるものをご提示いただけない場合。
- ②ご使用上の誤り、他の機器から受けた障害、または不当な修理や改造による故障および損傷。
- ③お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ④火災、地震、水害、落雷、その他天変地異のほか、公害、塩害、異常電圧などが原因となって発生した故障および損傷。
- ⑤故障の原因が本機以外にあり、本機に改善を要する場合。
- ⑥付属品などの消耗品による交換。

おことわり

本機のご使用方法の誤り、不当な修理や改造のほか、誘導雷サージを含む天災などの被害により発生した事故や、人身事故、および災害、盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

保証書

品名 : RMC-11		本体裏シールの SER. No. (製造番号) をご記入ください No.	
お客様名 : ご住所 〒 TEL:		様	取扱販売店名・住所・電話番号
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 1年間		

Artics

株式会社 アルテックス

住 所 神奈川県相模原市南区麻溝台 8-22-1

営業部ダイヤルイン 042(742)2110

F A X 042(742)3631

E - M A I L info@n-artics.co.jp

U R L <http://www.n-artics.co.jp>

発行 : 2012.03.15